

平成30年度 気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) セミナー等 シラバス
 平成30年度の年間テーマ ～気象データに触ってみよう！試してみよう！～

平成31年2月14日現在

【達成目標】	
<p>気象データ理解力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気象データの全体像を知っている 2. 気象データの入手方法を知っている 3. 気象データの利用方法・利用例を知っている 4. 気象データの利活用を構想・提案できる ※1 5. 気象データの利活用をコンサルティングできる ※2 	<p>気象ビジネス発想力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気象ビジネスの国内/海外事例を知っている 2. ビジネス現場のデータを知っている (例：POSデータ等) 3. 気象ビジネスを発想できる ※1 ※3 4. 発想した気象ビジネス案を具体化し、提案できる ※3 5. 気象ビジネスのコンサルティングができる ※2
<p>IT活用力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気象データのフォーマットを知っている 2. 気象データ分析のスキルを有する (ツールは不問) -過去の1地点データ、メッシュデータ、確率予報 -気象データと掛け合わせるビジネス現場のデータ (例：POSデータ等) 3. IoT/AIの概要、IoT/AIを利用した気象ビジネスの事例を知っている 4. IoT/AIを利用する気象ビジネスのシステムを構想し、提案できる ※3 5. 気象ビジネスへのIT活用をコンサルティングできる ※2 	
<p>※1：セミナー等で構想の源となる情報提供を想定 ※2：プロ (気象事業者/IT企業) の領域と想定 ※3：独力、チームの如何は問わないことを想定</p>	

説明内容			達成目標 (※上記参照)																							
			気象データ理解力					ビジネス発想力					IT活用力													
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5									
済 第1回	7月6日開催	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																					
		基礎知識	気象庁情報カタログの紹介	○	○																					
		観測	アメダス (*1) データの概要及び特徴	○																						
			アメダスデータのデータ形式 (BUFR) *2		○	○																	○			
		観測	気象衛星観測データの概要・特徴	○																						
			気象衛星観測データの形式		○	○																	○			
ビジネス事例	気象情報はビッグデータ、IoT、AIのフロントランナー			○						○	○	○										○				
ビジネス事例	気象データを活用したビジネスの現状と可能性			○						○	○	○										○				
済 第2回	9月7日開催	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																					
		基礎知識	気象庁情報カタログ等の紹介	○	○																					
		予報	週間・1か月・3か月予報データの概要・特徴	○																						
			2週間気温予報の紹介																							
		予報	週間・1か月・3か月予報データのデータ形式 (CSV他)		○	○																	○			
			清涼飲料及び家電流通分野における2週間先までの気温予測データを活用した事例				○					○	○	○												
		海洋	海水温・海流予報格子点資料の概要・特徴	○																						
			海水温・海流予報格子点資料のデータ形式 (GRIB2) *3		○	○																	○			
		ビジネス事例	気象海象情報サービスの事例 (海水温・海流予報データを活用した事例)				○					○	○	○												
ビジネス事例	国土地理院のウェブ地図「地理院地図」の紹介				○					○	○	○														
ビジネス事例	気象情報を活用した潜在リスクの把握とリアルタイム情報				○					○	○	○										○				

説明内容			達成目標（※前頁参照）																	
			気象データ理解力					ビジネス発想力					IT活用力							
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
済 第3回 11月9日 開催	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																
	基礎知識	気象庁情報カタログ+GRIB2形式+最新のトピックスの紹介	○	○	○											○				
	予報	ガイダンスデータ(*4)・降水15時間予報データの概要・特徴 ガイダンスデータ・降水15時間予報データのデータ形式 (GRIB2他)	○																	
	観測	ナウキャストデータの概要・特徴*5 ナウキャストデータの形式 (GRIB2)	○																	
	ビジネス事例	旅のミライへ！日本の四季を観光資源に、気象データと観光予報プラットフォームの可能性				○					○	○	○					○		
	ビジネス事例	食品ロス・廃棄を削減するデータ流通基盤				○					○	○	○					○		
済 第4回 1月30日 開催	基礎知識	気象データの全体像+気象データの入手方法	○	○																
	基礎知識	気象庁情報カタログ+GRIB2形式+最新のトピックスの紹介	○	○	○											○				
	観測	気象衛星の基礎	○	○	○											○				
		トゥルーカラー再現画像及び高分解能雲情報の概要・特徴	○																	
		トゥルーカラー再現画像及び高分解能雲情報のデータ形式 (GRIB2他)			○	○										○				
		推計気象分布の概要・特徴 推計気象分布の形式 (GRIB2)	○																	
	ビジネス事例	気象データのEMS分野での利活用例 -JST CREST HARPSの取り組み-				○					○	○	○							
ビジネス事例	気象データを活用したGIS関連のビジネス事例				○					○	○	○								
会員 限定	アメダス気象データ分析チャレンジ！CSV版（1日版、3日版）		○	○	○	○				○	○	○				○	○			
	メッシュ気象データ分析チャレンジ！GRIB版		○	○	○	○						○				○	○			
	確率予報データ分析チャレンジ！XML版 *6		○	○	○						○	○	○			○	○			
	ビジネスマッチングイベント																	○	○	

※地震・津波、火山に関する各種情報の概要、種類、入手方法についてもセミナー内で紹介することを検討しています。

【用語解説】

- *1 アメダス：地域気象観測システム (Automated Meteorological Data Acquisition System : AMeDAS) の略称。
雨、風、雪などの気象状況を時間的、地域的に細かく監視するために、降水量、風向・風速、気温、日照時間の観測を自動的に行っている。
- *2 BUFR：世界気象機関(WMO)が規定する国際的な気象通報式で、二進 (バイナリ) データとしてファイルフォーマット化して伝送する形式。アメダスなどの地点ごとの観測データの提供に利用している。
- *3 GRIB2：世界気象機関(WMO)が規定する国際的な気象通報式で、二進 (バイナリ) データとしてファイルフォーマット化して伝送する形式。数値予報モデルデータ、ナウキャストなどのメッシュデータの提供に利用している。
- *4 ガイダンス：数値予報モデルの結果を、実際の予報を行うにあたって利用しやすい形に置き換えたデータ。
- *5 ナウキャスト：気象レーダー等で観測された過去の降水域の動きと現在の降水の分布等を元に、目先1時間の降水の分布や、雷の可能性等を1km解像度 (高解像度降水ナウキャストは250m解像度、30分先まで) で予想したデータ。
- *6 XML：気象庁で利用しているデータ提供形式の一つで、文章化された情報を中心に利用されている。機械判読に適した形式となっている。